

競 技 注 意 事 項

※この大会は、2014年度 日本陸上競技連盟競技規則並びに本競技会規定により運営する。

- トラック競技は、全員計時する。
- 100m を除く種目については、すでに参加標準記録を突破している者と本記録会において参加標準記録を突破した者を除いて挑戦会を行う。尚、100m については、ジュニアオリンピックリレー代表選考のため、上位 8 名で挑戦会を行う。
- 800m 以上の種目については、挑戦会を行わない。

- 走幅跳・砲丸投については、次の記録に到達しない場合は計測しない。
(ただし、天候等により計測記録を変更することがある)

走幅跳	男子	1年生	4m80	2年生	5m30
	女子	1年生	4m20	2年生	4m50
砲丸投	男子	2年生	12m00	3年生	10m00
	女子	2年生	9m50	3年生	9m00(4kg)

※円盤投、ジャベリックスローについても計測ラインを設定することもある。

- 走高跳のバーの上げ方は、次の通りとする。

男子 3年生 (練習 1m65) 1m70 75 80 85 88 91 以降3 cm ずつ

女子 3年生 (練習 1m35) 1m40 45 48 51 54 57 以降3 cm ずつ

◇最後の一人になり優勝が決定するまで、上記のバーの上げ方をする。

尚、女子については、1m45cm 以降は 3cm ずつ上げる

- 招集について

◇招集場所は雨天練習場内に設置する。

◇招集時刻は次の通りとする。

種 目	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技	競技開始 30 分前	競技開始 20 分前
フィールド競技	競技開始 40 分前	競技開始 30 分前

◇招集開始時刻までに招集場に集合し、招集開始時刻から競技者係による点呼を受ける。その際、競技服装で、ナンバーカードとスパイクシューズピンの確認をうける。招集完了時刻に遅れたり、この点呼・点検を受けなかった選手は失格になる。

- 器具については、全て競技場備えつけの器具を使用する。
- 応援はスタンドで行うこと。グラウンドには降りないこと。(競技場内での付き添いは認めない)
特に、選手の本部前の通行は、厳禁とする。
- 競技場内での練習は、原則として認めない。但し、フィールド種目については、招集完了後競技役員の指示により競技場内で練習させる。
- 各校において生徒選手のマナー(観覧・応援態度、競技中の態度、交通機関の利用等)の指導を徹底すること。ゴミは、全て各中学校・各自で持ち帰ること。(駅等のゴミ箱には捨てないように)
- スパイクシューズは、9mm 以下の平行ピンとする。(ただし、走高跳は、12mm 以下)
- ナンバーカードは縦 20cm×横 24cm、文字の太さは 1.7cm の黒文字で鮮明であること。また、跳躍競技者は、背または胸につけるだけでもよい。
- スタートについては、「イングリッシュコマンド」とし、1 回目に不正スタートした者を失格」とする。
尚、混成競技においては、各レースでの不正スタートは1 回のみとし、その後不正スタートした競技者はすべて失格とする。(競技規則第162条7)
- 競技会中の疾病・事故については、応急処置のほかは、主催者はその責任を負わない。
各自、健康管理(暑さ対策等)には、十分気をつけること。
- ジュニアオリンピック(横浜)の申込は、県中体連陸上競技部が一括して行う。申込書は、日本陸上競技連盟 HP よりダウンロードし、必要事項を記入の上、9 月19 日(金)までに奥野耕太郎委員長に提出すること。(尚、9 月18 日(木)の県新人プログラム編成会議(加古川)に持参可)